

平成26年度
予算に公明党の主張が大きく反映!

これまでの予算要望や議会における議論を通して、公明党横浜市議団の主張が反映されました。市民生活の安全・安心を守る取り組みが、大きく前進します。

携帯型防災ヘルメットの配備

●市立小学校の児童(1学年を対象)に携帯型防災ヘルメットが配備されます。配備されるヘルメットは、落下物や火災から頭部・首を守り、平常時は収納に場所をとらない形状のものとなる予定です。



肺炎球菌ワクチンの公費負担

●高齢者の肺炎球菌による疾病の発生や重症化を予防するため、本年10月から、肺炎球菌ワクチンの接種に公費負担が実施されます。

対象は、65歳以上の方で、65歳、70歳、と5歳置きの年齢での実施となります。



幼稚園 就園奨励補助金を拡充

幼稚園に通っているお子さんで、小学校1〜3年生の兄弟が1人いる場合に、補助金が増額されます。

補助金額は世帯の市民税額などによって異なります。詳しくは、横浜市「こども青少年局」のホームページをご覧ください。各幼稚園にご確認ください。



元気で安心な町づくりを!



市会議員
かのう重雄

鉄道の安全

●鶴見区内の生見尾踏切の立体横断施設の早期完成(28年度)を目指します。

●東急東横線・みなとみらい線の横浜駅に転落事故防止の可動式ホームドアを整備します。



教育の充実

●放課後児童育成事業で、障がい児の受け入れの補助が増額されます。

●特別支援教室を兼ねる特別教室(図書室、理科室等)に空調設備が設置されます。

●全市立中学校で栄養バランスのとれたランチ提供に向けた調査等を実施します。

